

文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）独立行政法人日本芸術文化振興会

京都観世会三月例会

令和3年3月28日（日）午前11時開演（午前10時開場）



文化庁

〈能〉

花月

樹下千慧

〈狂言〉

蚊相撲

茂山七五三

〈能〉

西行桜

橋本雅夫
素囃子

〈能〉

大会

深野貴彦

主催 公益社団法人 京都観世会

会場 京都観世会館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町44
(東山仁王門東入)

お問合せ・お申込み ☎ 075-771-6114
<http://www.kyoto-kanzei.jp>

本公演は新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに沿った対策を講じる為、3月例会前売券は2月16日より事務所・電話・WEBにて限定数での発売と致します。
なお年間普通会員・6回会員の方は、事前予約なしでご入場いただけます。

前売券 (1階・2階自由席) 6,000円
学生券 (2階自由席) 3,000円

※通信講座受講生、放送大学、老人大学は一般料金です。

京都観世会館案内図



- ◆京都観世会館へは
 - J R京都駅から —
 - 市バス[5] [100]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車 (乗車時間約30分)
 - 徒歩約3分
 - 地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」にて東西線に乗り換え「東山駅」下車 (乗車時間約20分)
 - 阪急京都河原町駅から —
 - 市バス[31] [46] [201] [203]で「東山仁王門」下車 (乗車時間約15分)
 - 徒歩約5分
 - 京阪三条駅から —
 - 市バス[5]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車 (乗車時間約7分)
 - 徒歩約3分
 - J R二条駅から —
 - 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約8分)
 - 山科・醍醐方面から —
 - 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約9～17分)
 - 地下鉄東西線「東山駅」から —
 - ①番出口から徒歩約5分
- ◆東隣に有料駐車場(約20台)がございます。

京都観世会三月例会

花月

樹下千慧

(能)

藤有松 遼一 大鼓 山本哲也
小鼓 林 大輝 笛 左 鴻泰 弘
門前ノ者 島田 洋海

(狂言)

蚊相撲

大 名 茂山 七五三

太郎冠者 井口 竜也
蚊ノ精 松本 薫

休憩二十分

(一 時 四 十 分 頃)

西行桜

橋本雅夫

(能)

西行法師 宝生 欣哉 大鼓 谷口 正壽
素囃子 花見男 殿田 謙吉 小鼓 吉阪 一郎
立衆 平木 豊男 笛 杉 市和
大日方 寛

間 能方 茂山 逸平

休憩十五分

淡路 松井 美樹
雲雀 山 浦部 好弘
船橋 大江 泰正

(三 時 半 頃)

帝釈天 大江 広祐

深野 貴彦

大会

僧正 大日方 寛

大鼓 石井 保彦 太鼓 前川 光範
小鼓 林 大和 笛 森田 保美

間 木葉天狗 茂山 千五郎

井口 竜也
山下 守之

附 祝 言

(終 了 予 定 四 時 半 頃)

後見・地謡

(後見) 林 宗一郎
杉浦 豊彦

寺澤 拓海 浅井 通昭
河村 和貴 味方 玄
宮本 茂樹 河村 晴道
吉田 篤史 吉浪 壽晃

(後見) 柴田 鉄平

(後見) 橋本 光史
片山 九郎右衛門

浦田 親良 片山 伸吾
河村 和晃 河村 和重
橋本 忠樹 井上 裕久
田茂 井廣道 古橋 正邦

(地謡) 谷 弘之助
橋本 擴三郎
浦田 保浩
河村 晴久

(後見) 浦田 保親
大江 又三郎

河村 紀仁 浦部 幸裕
河村 浩太郎 分林 道治
梅田 嘉宏 大江 信行
松野 浩行 味方 團

解説

花月

子どもが七歳の春に行方不明になったのを機縁に、筑紫彦山の麓に住む男が出家し、諸国修行の旅に出る。ある年の春、僧が都清水寺に参詣すると、花月と呼ばれる少年が現れる。花月はいかに勤められるままに小歌をうたい、梅花をふみ散らす鶯を弓矢でねらい戯れ、続いて清水寺の縁起を曲舞で舞う。その様を見ていた僧は、これこそ失ったわが子がよと名乗り出る。花月は父との再会を喜んで身の上話をし、羯鼓を打って舞い、やがて父子連れ立って仏道修行に赴く。

能には喝食をシテとした二連の曲があり、いずれも遊狂の精神を旨とし、無邪気で明るく、どこか痺味を帯びた性格を持つ。特に「花月」は機智豊かで、しかも軽妙洒脱なところもある愛すべき少年で、中世的な雰囲気気の横溢した作品である。

西行桜 素囃子

京都西山の西行法師の庵室の桜は今が満開で、都から大勢の見物人がやってくる。西行は今年は桜を一人で楽しむとうとう見物人に花見禁制の旨を人々に告げさせるが、はるばる都から訪れた人達をむげに断ることでもできず、花見を許し一行を庭へ通す。しかし、やはり俗な花見客は心外だ、これも桜の咎だろと一花見んと群れつつ人の来るのみぞあたられ桜の咎にはありける」と歌に詠む。

すると、その夜の夢に木陰から桜の精が現れて、先程の歌を詠んだ心を問いたす。そして「桜の咎」とされたことは承服できないと不満を述べ、非情無心の草木の花には何の罪もないことを西行に訴える。その一方で、西行と知り合ったことはこの上ない喜びだと言い、京都の桜の名所を次々と挙げてその美しさを讃え、春の夜を惜しみながら物振びた舞を舞う。やがて夜も明け、桜の精は消え失せ、西行の夢も覚めるのであった。

大会

天狗が鷹に化けて都の空を飛んでいたが、東北院のあたりで蜘蛛の巣にかり落下する。居合わせると京童に捕まり、命を落とそうとしたその時、比叡山の僧が通りかかり、数珠と交換に鷹を受け取り、命を助けた。能はこの後の場面から始まる。比叡山の僧の庵に山伏姿の天狗が現われ、命を助けられた礼に何事でも望みを叶えようと言ふ。僧は霊鷲山での釈迦の説法の有様を目の当たりに拝むことを望む。天狗は容易なことではあるが、信心をおこして尊いと思われと困ると念をおして消え失せる。(中入)

僧が目を開くと、音楽が聞こえ、比叡山は霊鷲山となり、釈迦が多くて菩薩に囲まれて獅子の座に座つて説法を話している。僧正は大会の有様が目前に広がっているのを見て、天狗との約束を忘れ、思わず信心をおこして一心に拝んではまう。するとにわか帝釈天が現われ、外道の天狗が僧をたぶらかすと怒らしめ、天狗はさんさんの体で深谷の岩洞に帰って行った。

次回予告

京都観世会四月例会

令和3年4月25日(日)

午前11時開演

(能) 嵐山 河村 晴久
白頭

(狂言) 文荷 善竹 彌五郎

(能) 采女 浅井 文義
美奈保之伝

(能) 藤戸 青木 道喜
蹠跣之伝

【表紙写真】

大会 浦田 保浩

金の星渡辺写真場 撮影

お客様へお願い
◆都合により出演者に変更がある場合がございます。ご了承ください。あらかじめご了承ください。
◆許可なき写真撮影・録音・録画はお断りいたします。
◆場内では携帯電話等の呼出音をお切りください。
◆東隣に有料駐車場がございます。満車の際は岡崎公園市営地下駐車場をご利用ください。

【お知らせ】
当館ではアルコール消毒液の設置や、多くのお客様が手に触れる箇所には定期的に清掃・消毒を行っております。
。[検温]「マスク着用」「咳エチケット」「手指消毒」のご協力をお願い申し上げます。
。発熱・咳など風邪症状のある場合は、ご来館前に医療機関にご相談ください。
。「字幕解説サービス」専用端末は千円(税込)にて貸出いたします。
今後の状況変化により、催し物の内容変更または延期となる場合がございます。あらかじめご了承ください。